地域再生計画(道整備交付金)事後評価シート

都道府県名	宮崎県	事業主体	串間市	地域再生計画名	しあわせで住みよい豊かな串間の創造
計画期間	平成18年度~平成21年度	事業期間	平成18年度~平成21年度	地域再工計画石	しめれたではからい。気がは中国の制造

		指標		基準値 目標				=a./ar	達成状況に関する評価			
						基準年度		年度		基準年度		
(1)·	也域再生計画に記載した	指標1 人口減少の抑制(平成16 23,400人→平成22年:23,			23,400人	H16	23,000人	H22	21,400	H22		数値目標の見込みが甘く、人口減少に歯止めがかからず目標値を達成できなかった。
	数値日煙の達成状況	指標2	農畜産物輸送の合理化(串間市から宮崎自動車道・田野ICへのアクセス時間短縮:10分)		20分	H17	10分	H21	2分	H22	0	約7分の時間短縮が図られ、概ね目標値を達成 できた。(8分20秒→2分)
			市民生活の環境改善(本城地から串間市民病院へのアクセ間短縮:3分)		18分	H17	17分	H21	15分	H22		本城地区の一部において、中心市街地を避けて 病院に行けるため、目標を達成した。
3 =	事業の進捗状況	事業名		整備量(その他の事業では取組内容)			目標の達成に対する評価及び今後の対応					
9 -	1. 不00 定多代加			計画		実績			口張の足がにかずる計画及の子及の対応			
	持別措置を適用して行う 事業	市町村道整備事業		250m				広域農道へのアクセス時間が短縮されるとともに、安全・安心な市民生活の環境改善が図られた。				
		広域農道整備事業		123m					宮崎自動車道・田野インターチェンジまでのアクセス時間が短縮され、農畜産物輸送 の合理化が図られた。			
	その他の事業	磁气性性 21:47 7/3 二柱 12 丰 辛 1					市民病院横に併設されたことにより、保健福祉活動の各種サービス・情報の提供を 有した総合的な拠点施設として、市民が利活用しやすい環境が整備された。					
		生涯学習推進事業		生涯学習への関心が高まる中、様々な 学習機会が総合的に提供できる体制の 整備・拡充を図る。				専門指導員5名を各地区に配置し、60歳以上を対象に各種講座を年42回開催し、 多くの方が受講されている。				
(4		本地域再生計画では、道整備交付金を活用した効率的な整備を図ることができた。特に広域農道の整備については、宮崎自動車道・田野ICまでのアクセス時 間が7分短縮でき、農畜産物の輸送合理化を図ることができた。また、市道を整備したことにより、広域農道へのアクセスの向上及び生活環境の改善が図られ た。										

(目標1) 人口減少の抑制 (平成16年4月:23,400人 → 平成22年の目標人口:23,000人)

住民基本台帳

単位:人

				<u> </u>
基準年月日	世帯数	人口	男	女
平成16年4月1日	9,324	23,396	10,941	12,455
平成17年4月1日	9,307	23,085	10,838	12,247
平成18年4月1日	9,431	22,807	10,741	12,066
平成19年4月1日	9,435	22,490	10,563	11,927
平成20年4月1日	9,390	22,102	10,376	11,726
平成21年4月1日	9,404	21,642	10,133	11,509
平成22年4月1日	9,401	21,399	9,997	11,402

宮崎県 串間市~九州自動車道・田野IC アクセス時間調査位置図

(目標2)農畜産物輸送の合理化

(串間市から宮崎自動車道・田野ICへのアクセス時間短縮:10分)

18分20秒

②2分 ※6分20秒の時間短縮が図られた。

至 志布志

